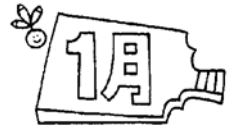


おひさまだより



平成 30 年 1 月号
社会福祉法人 尚徳福社会
生麦保育園 園長 酒井和子



新年あけましておめでとうございます。

平成 30 年が始まりました。新しい年の始まりは、なにか素晴らしいことの始まりそうな期待感でいっぱいになりますね。

園では久しぶりに子どもたちの元気な声がひびき、「みんなでおでかけしたよ」「おもちゃたくさんたべたよ」など、お正月に経験してきたことをにこにこ顔で話してくれます。

今年も一人一人の『おもい』をしっかり受け止め、子どもたちの成長につながるよう保育をしていきたいと思ひます。

本年もみなさまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

1 月の行事

10 日（水）おはなし会

22 日（月）にこにこサロン

23 日（火）～24 日（水）生麦中学校職業体験

25 日（木）横浜北線及び岸谷生麦線高架下緑地のオープンنگイベント（ぞう組）

26 日（金）バイキング

27 日（土）ぞう組懇談会

29 日（月）乳児誕生日会

30 日（火）幼児誕生日会

29 日（金）～2 月 9 日（金）鶴見大学短期大学実習生が 2 名入ります。



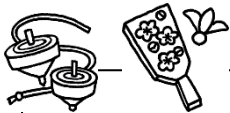
乳児クラス

体の動きが活発になってきた子どもたちは、音楽がかかると体を揺らし、手をたたいてリズムをとりはじめます。りす組からはかわいい歌声も聞こえてきます。



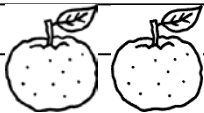
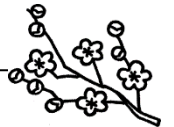
幼児クラス

おたのしみ会を終え、一段と成長した姿を感じます。異年齢で遊ぶ楽しさを感じられるようになり、最近では園庭で一緒に元気よく走り回ったり、宝探しをしたりしています。



楽しいお正月あそび

お正月あそびは、遊びを通して文字や数などに関心を持ち、友だちと一緒にルールを覚えながら、遊びの意欲や協調性などの心が育ちます。テレビやゲームで過ごさせていませんか？お正月あそびは貴重な体験の場です。家族でカルタやトランプゲーム、すごろくなどで遊ぶ機会をつくってみましょう。人との会話は心を育てます。



冬至

一年の中で昼の時間が最も短くなる冬至の日。日本には昔から、この日にゆず湯に入って体を温め、栄養たっぷりのかぼちゃを食べるという風習があります。私たちもこの知恵にならって寒い冬を元気に乗り越えたいですね。



大切にしたい子どもとのキャッチボール

子どもの目と目を合わせて気持ちを通じ合わせながら、子どもに合わせて対話をしていくことは大切です。「〇〇しなさい」「早くしなさい」といった「命令形」は一方通行の語りかけで言葉の発達に差がつきます。またDVDやテレビなどの映像による一方的なメッセージは目と目を合わせた生の語りかけの代わりには絶対になりません。ぜひ、子どもと目と目を合わせて話す時間を大切にしてほしいと思います。



感染症にご注意

長い休みの後は生活リズムが不安定になりがちです。かぜに負けない体づくりのため、ご家庭で食事や睡眠、トイレの時間などを確認してみましょう。子どもも大人も生活を見直し、リズムを整えることで、免疫を高め、心身ともに健やかな毎日を過ごすことができそうです。

また、この時期はインフルエンザやノロウイルスなど感染症が流行します。特に乳児の場合は、発熱、嘔吐、下痢などの症状の進行が速く、脱水症状を起こすこともあるので、早めに対応しましょう。

